

平成29年3月9日

たねと食とひと@フォーラム 御中

正田醤油株式会社
生産本部 購買部
部長 村上 仁



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2月27日付でご送付いただきました『醤油の原材料について』のご質問につきまして、以下の通り
ご回答させていただきますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

○公開質問状『醤油の原材料について』に関する回答

①弊社製品原材料の原産国、遺伝子組み換えの分別状況について

正田醤油／商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え
特級正田のしょうゆ	脱脂加工大豆	インド・アメリカ	分別
	小麦	日本・アメリカ他	分別(※)
特撰正田の丸大豆しょうゆ	大豆	アメリカ・カナダ	分別
	小麦	日本・アメリカ他	分別(※)
減塩正田のしょうゆ	脱脂加工大豆	インド・アメリカ	分別
	小麦	日本・アメリカ他	分別(※)
正田二段熟成醤油	大豆	アメリカ・カナダ	分別
	小麦	日本・アメリカ他	分別(※)

※小麦の遺伝子組み換え作物は、日本国内で流通していないという認識です。

②主原料である大豆・脱脂加工大豆以外の、醤油製品に含まれる添加物・調味料(アルコール、果糖ぶどう糖液糖、みりんなど)に遺伝子組み換えの原材料を使用していますか。

上記①の製品以外で、一部の醤油製品について、遺伝子組み換え不分別の異性化液糖を使用しております。
異性化液糖については、国内メーカーが遺伝子組み換え不分別を使用する方針で概ね統一されており、弊社使用量を賄える量の遺伝子組み換え分別原料由来品を調達できない状況です。

③遺伝子組み換え不分別の原材料の使用に関しては、いつから使用していますか。また今後、どのような条件がそろえば遺伝子組み換えでない原材料に戻せるとお考えですか。

異性化液糖業界が遺伝子組み換え不分別原料を使用することで統一されてから、弊社も使用しております。
どのような条件がそろえば、異性化糖業界が遺伝子組み換えでない原料を使用する方針に戻るかについてはお答えする立場にないと考えます。

④遺伝子組み換えでない原材料の使用に関しては、今後不分別のものに切り替える予定はありますか。またその理由もお教えください。

現在、遺伝子組み換えでない原材料を不分別のものに切り替える予定はありません。
消費者ニーズにかなう製品をお届けするためです。

⑤遺伝子組み換えでない原材料の入手は、どのような点で、どの程度の難しさがありますか。遺伝子組み換えの原材料との価格差・入手先の選定など、可能なかぎり具体的にお答えください。

醤油の主原料については、農場から弊社工場まで、IPハンドリングが徹底されている仕組みを必要とします。その為に、世界的に通用する認証を受けた業者を選定し、認証の維持を求めています。それでも完全ではないので、国内でも検査を行い、合格品だけを受入れています。認証の維持と遺伝子検査についてはコストがかかります。(不分別品には不要なコストです。)また、世界的に遺伝子組み換え品の栽培が広がるほど、遺伝子組み換えでない原材料を入手することが困難になります。
異性化液糖のように、国内メーカーが遺伝子組み換え不分別原料を使用することで統一されている原料については、分別原料由来のものを調達することができません。

以上